

平成20年度長崎大学新採用職員研修を実施



開会の挨拶を行う濱事務局長



AED操作を行う研修生



先輩と討議する研修生

4月2日から4日までの3日間、平成20年度長崎大学新採用職員研修が情報メディア基盤センターを主会場として実施されました。同研修は、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、職務遂行の基礎知識、技能、態度等を習得させることを目的としており、平成19年4月16日以降に採用された事務職員17名が受講しました。

1日目は「中期目標・中期計画」、「大学の組織と業務」、「財務会計制度」、「学生支援業務」、「附属病院関係業務」、「文書実務」の講義と「救命救急・応急処置」としてAED操作の実習等が行われました。研修終了後、濱事務局長をはじめ講義を担当する講師等を交え懇親会が開催されました。

2日目は「給与制度」、「ハラスメント防止」の講義があり、午後からは新任教員FD研修へ参加し「長崎大学歴史散歩」として文教キャンパス、片淵キャンパス及び坂本キャンパスの史跡等を学長の説明により見学しました。

3日目は「服務制度」、「福利・厚生制度」、「ビジネス行動の基本とコミュニケーション」、「メンタルヘルス対策」、「仕事の進め方」の講義と討議式の「先輩と語る」が行われました。今回新たに企画された「先輩と語る」では、平成17年度から平成19年度に採用された先輩6人を招き、研修生からの質疑に対する助言・指導が行われました。

研修生からは、同期職員と一堂に会してコミュニケーションを深めることができたなどの感想が聞かれ、人間関係の構築にも一役買ったようです。

(総務部人事管理課)